

2010年3月期 第3四半期決算

2010年1月28日

株式会社 野村総合研究所



連結決算ハイライト <第3四半期累計>

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) | 増減額 | 増減率 |
|--------|-------------------------|-------------------------|--------|--------|
| 売上高 | 251,208 | 252,155 | +946 | +0.4% |
| 営業利益 | 37,322 | 32,755 | △4,566 | △12.2% |
| 営業利益率 | 14.9% | 13.0% | △1.9P | |
| 経常利益 | 39,152 | 33,419 | △5,732 | △14.6% |
| 四半期純利益 | 21,651 | 18,649 | △3,001 | △13.9% |

2010年3月期第3四半期 連結決算のキーワード

● 3Q累計の連結売上高は業績予想の範囲内で推移

1. 証券業のIT投資マインドに回復の兆しは依然なし。厳しい環境の中で、保険業・銀行業等で増収を果たし、売上高は横ばい(前年同期比 +0.4%)を確保。
2. コンサルティング、開発・製品販売の減収を、運用サービス、商品販売の増収でカバー。

● 外部委託費の適正化は順調。営業利益も業績予想並みの水準で進捗

1. 外部委託費の適正化に努め、開発・製品販売、運用サービス共に外注費低減は順調。
2. 一方、開発・製品販売での売上高の低迷に加え、新規分野事業拡大によるコスト増や、新オフィス開設コストの一部前倒しなど、コスト面での増加要因もあり。

連結P/Lハイライト

<第3四半期累計>

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) | 増減額 | 増減率 |
|--------|-------------------------|-------------------------|--------|--------|
| 売上高 | 251,208 | 252,155 | +946 | +0.4% |
| 売上原価 | 175,894 | 179,914 | +4,020 | +2.3% |
| 外注費 | 90,266 | 82,833 | △7,433 | △8.2% |
| 売上総利益 | 75,314 | 72,240 | △3,073 | △4.1% |
| 売上総利益率 | 30.0% | 28.6% | △1.3P | |
| 販管費 | 37,991 | 39,485 | +1,493 | +3.9% |
| 営業利益 | 37,322 | 32,755 | △4,566 | △12.2% |
| 営業利益率 | 14.9% | 13.0% | △1.9P | |

連結P/Lハイライト

<第3四半期累計> 続き

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) | 増減額 | 増減率 |
|------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|---------------|
| 営業利益 | 37,322 | 32,755 | △4,566 | △12.2% |
| 営業外損益 | 1,829 | 664 | △1,165 | |
| 受取利息 | 796 | 285 | △511 | |
| 持分法による投資損失 | - | △553 | △553 | |
| 経常利益 | 39,152 | 33,419 | △5,732 | △14.6% |
| 特別損益 | △1,390 | △861 | +529 | |
| 投資有価証券売却益 | - | 195 | +195 | |
| 投資有価証券評価損 | △395 | △1,081 | △685 | |
| 関係会社株式評価損 | △642 | - | +642 | |
| リース会計基準の適用に伴う影響額 | △351 | - | +351 | |
| 法人税等 | 16,109 | 13,915 | △2,194 | |
| 四半期純利益 | 21,651 | 18,649 | △3,001 | △13.9% |

業種別連結売上高

<第3四半期累計>

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 構成比 | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|
| 証券業 | 98,542 | 39.2% | 93,025 | 36.9% | △5,516 | △5.6% |
| 保険業 | 34,920 | 13.9% | 41,580 | 16.5% | +6,659 | +19.1% |
| 銀行業 | 18,968 | 7.6% | 22,109 | 8.8% | +3,140 | +16.6% |
| その他金融業 | 21,859 | 8.7% | 17,938 | 7.1% | △3,921 | △17.9% |
| 金融サービス業 | 174,291 | 69.4% | 174,653 | 69.3% | +362 | +0.2% |
| 流通業 | 32,518 | 12.9% | 32,759 | 13.0% | +241 | +0.7% |
| その他産業等 | 44,399 | 17.7% | 44,741 | 17.7% | +342 | +0.8% |
| 合計 | 251,208 | 100.0% | 252,155 | 100.0% | +946 | +0.4% |
| 野村ホールディングス | 72,271 | 28.8% | 65,604 | 26.0% | △6,666 | △9.2% |
| セブン&アイ・ホールディングス | 28,625 | 11.4% | 30,929 | 12.3% | +2,303 | +8.0% |

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む

品目別連結売上高

<第3四半期累計>

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 構成比 | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|---------|--------|
| コンサルティングサービス | 24,810 | 9.9% | 21,489 | 8.5% | △3,321 | △13.4% |
| 開発・製品販売 | 106,401 | 42.4% | 95,778 | 38.0% | △10,622 | △10.0% |
| 運用サービス | 111,298 | 44.3% | 124,316 | 49.3% | +13,018 | +11.7% |
| 商品販売 | 8,697 | 3.5% | 10,569 | 4.2% | +1,872 | +21.5% |
| ITソリューションサービス | 226,397 | 90.1% | 230,665 | 91.5% | +4,267 | +1.9% |
| 合計 | 251,208 | 100.0% | 252,155 | 100.0% | +946 | +0.4% |

連結受注残高

(百万円)

| | 2008年12月末 | 2009年12月末 | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-----------|-----------|--------|--------|
| コンサルティングサービス | 5,290 | 4,955 | △334 | △6.3% |
| 開発・製品販売 | 27,324 | 26,039 | △1,284 | △4.7% |
| 運用サービス | 35,659 | 39,418 | +3,758 | +10.5% |
| ITソリューションサービス | 62,984 | 65,457 | +2,473 | +3.9% |
| 合 計 | 68,274 | 70,413 | +2,138 | +3.1% |
| うち、期中分 | 63,869 | 63,584 | △285 | △0.4% |

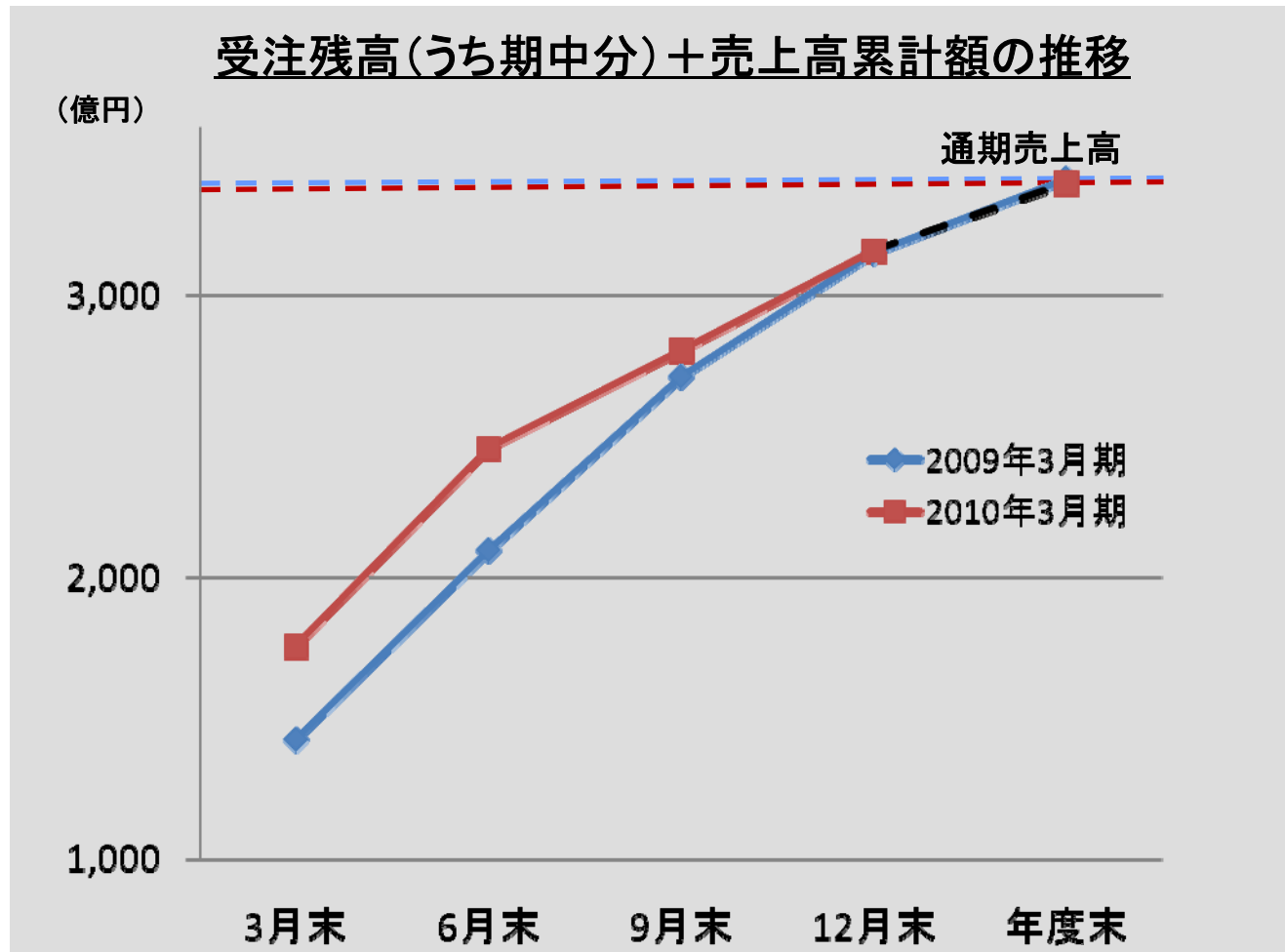
連結キャッシュ・フロー

(百万円)

| | 2009年3月期 3Q累計(4~12月) | 2010年3月期 3Q累計(4~12月) |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 75,524 | 28,228 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 31,360 | 45,281 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,361 | △12,242 |
| (除く、資金運用目的投資) | △28,573 | △22,316 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 5,999 | 33,039 |
| (除く、資金運用目的投資) | 2,787 | 22,965 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △22,328 | △10,297 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 58,843 | 50,870 |
| 現金及び現金同等物+資金運用目的投資残高 | 81,411 | 63,967 |

売上高＋連結受注残高の進捗

➤ 受注環境は依然として厳しい状態が続いている



新規プロジェクト事例

➤ SMBCフレンド証券株式会社向けに、2010年1月より、STAR-IVのサービス提供開始

■ STAR-IVが選定された理由:

利用実績、制度変更対応、機能サービスの拡張性、品質管理の高さ等

(1/18NRIニュースリリースより)



SMBCフレンド証券

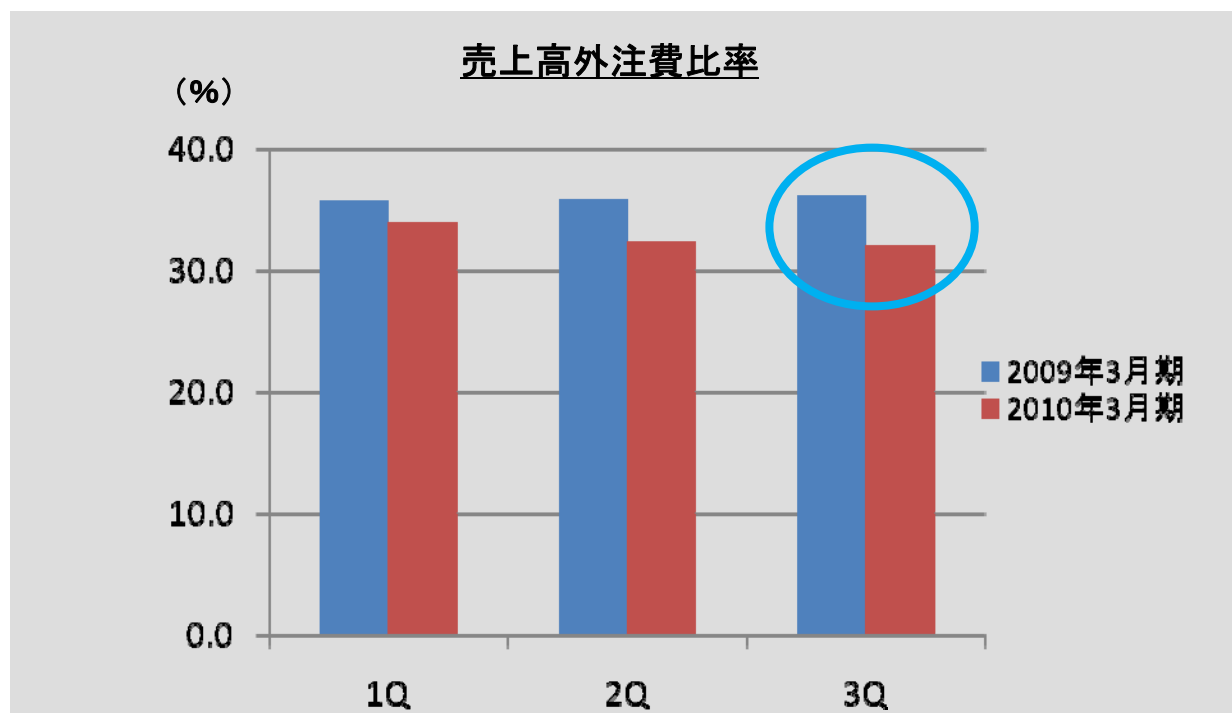
基幹系システムに「STAR-IV」を採用

(注)STAR-IV: リテール証券のバックオフィス業務をサポートする共同利用型システム

コストの適正化

外部委託費の適正化は順調。一方コスト増加の要因もあり

- 外部委託費の適正化に努め、開発・製品販売、運用サービス共に外注費低減は順調
- 開発・製品販売での売上高の低迷に加え、新規分野事業拡大によるコスト増、新オフィス開設コストの一部前倒しなど、コスト面での増加要因もあり。



設備投資

➤ 新データセンターの建設地を決定

新データセンター(5カ所目)概要

【新データセンター建設予定地の概要】

- 所在地: 東京都多摩市
- 敷地面積: 19,496.3㎡(5,897.63坪)
- 竣工予定時期: 2012年度中



※現時点のイメージで実際の建物とは異なる

【新データセンターの用途】

- 拡大するアウトソーシング事業の拠点
- クラウドサービスの中核拠点

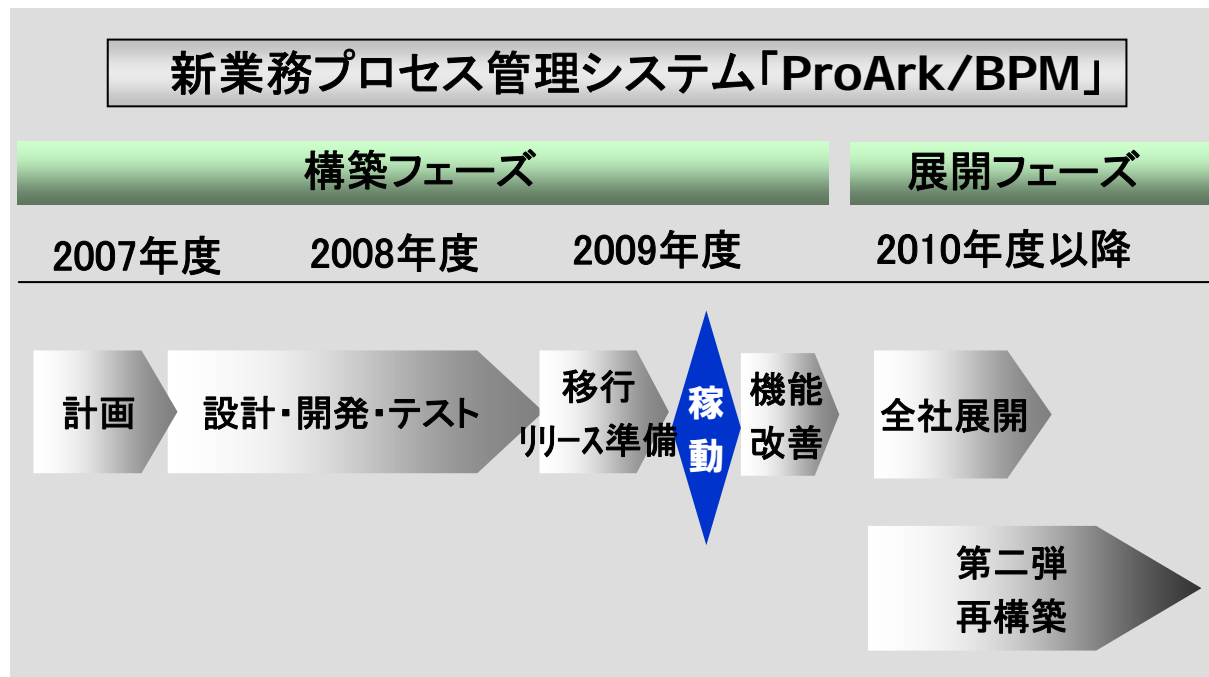
【設備の特徴】

- 環境性: 自然エネルギーを活用し、省資源でエネルギー効率の高い技術を導入
- 安全性: 最先端のセキュリティー設備の導入
- 信頼性: 多重化された拡張性の高い電源システム等

NRIの新社内情報システム

➤ 従来の社内システムを刷新し、新業務プロセス管理システムが稼働プロジェクトマネジメントの質の更なる向上を支援

- 当社の先進的なプロジェクトマネジメントをシステム実装していく基盤
今後も継続的に機能追加・拡張を続けていく「進化するシステム」



野村総研

BPMを全社導入

37億円 社内システム刷新

野村総合研究所(NRI)は特約顧問として社内システムを刷新する第一弾として、営業統括からシステム構築まで、プロジェクトを一貫管理する業務プロセス管理(BPM)システムを導入。09年度から全社に導入する。プロジェクトの各業務プロセス間のデータ連携や情報の可視化により、間接業務の負荷軽減、業務の進捗より合わせた収益管理などについて、業務プロセスを一元管理できるシステムの導入は国内初といえる。

野村総研のBPMは従来の収支、業務推進の部門にも今年5月より、会計管理をベースとする管理体制の明確化に、から順次導入する。しいたが、契約締結 向け、新システムフロア 顧客への提案前の案件、前の営業、提案を意味した アーク/BPMの構築を意味。その後の決裁やプロジェクト単位の業務を進めてきた。09年9月 契約から調達、システム業務標準を連結してきた。から流通、保険業向け事業 開発、売手まで二連の業務を担う部門で稼働。他 業務標準を一元管理。システムプロジェクト管理業務で

社内では、大規模なシステム刷新を行うことで「我々の売りであるプロジェクト管理」の導入を「トップマネジメント」としてい。

2期、全社単位で導入を減らすとしている。購買、社外委託の業務を管理する外部調達管理(ORM)システム同/ORM)も11年度から稼働させると。

2010年1月26日 日刊工業新聞

横浜みなと総合センター

➤ 2009年12月16日に竣工。2010年2月に開設する予定

横浜みなと総合センター概要

- 使用ビル:横浜ダイヤビルディング
10～30階
- 使用面積 : 31,982㎡
- 開設予定時期:2010年2月
- 業務内容 :主に金融・保険システム

NRIの主要拠点

- 丸の内総合センター
 - 木場総合センター
 - 横浜総合センター
 - 横浜みなと総合センター
 - 大阪総合センター
- の5つの総合センターへ



代表取締役の異動と新社長就任に関するお知らせ

- 4月1日付で代表取締役兼専務執行役員の嶋本正が新社長に就任する事を決定
- 4月1日付で代表取締役会長兼社長の藤沼彰久は取締役会長へ



嶋本 正(しまもと ただし)

生年月日 1954年2月8日

和歌山県出身

京都大学工学部卒業

| | 職 歴 |
|----------|--|
| 1976年4月 | 野村コンピュータシステム(現、野村総合研究所) 入社 |
| 2001年6月 | 取締役 情報技術本部長 |
| 2002年4月 | 執行役員 情報技術本部長 |
| 2004年4月 | 常務執行役員 情報技術本部長 兼 研究開発センター副センター長 |
| 2008年4月 | 専務執行役員 事業部門統括 |
| 2008年6月 | 代表取締役 兼 専務執行役員 事業部門統括 |
| 2009年4月 | 代表取締役 兼 専務執行役員 事業部門統括、事業推進、流通・サービス・産業関連システム担当、経営ITイノベーションセンター長 |
| 2009年10月 | 代表取締役 兼 専務執行役員 事業部門統括、事業推進、流通・サービス・産業関連システム担当 |

-
- ・本資料は、2010年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。